

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和04年01月31日

計画の名称	広島・島根における尾道松江線を軸とした広域観光活性化計画（重点）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	島根県											
計画の目標	<p>広島県と島根県は古くから深い繋がりにより、共通の文化・経済圏を織りなし、相互に連携し発展してきた地域であり、この強みは尾道松江線の全線開通により更に強固なものとなった。全線開通により尾道から松江間の所要時間は2時間30分となり、日帰りの旅行圏域になったことに加え、無料であることから沿線の多様な観光資源に気軽に訪れることが可能となり、沿線地域の総観光客数が5年間で約1,000万人増加している。</p> <p>まもなく訪日外国人観光客数がアクティブシニア層人口を超えること、人口減少により国内の観光需要の減少が予測されることから、観光により地域経済を活性化するためには、インバウンド観光の拡大が必要である。近年、インバウンドのニーズは、「量から質、モノからコト」に変化しているが、当該地域には訪日外国人観光客が求めるもの（食・温泉、伝統・文化、自然・景勝地、アクティブ）が高いオリティで全て揃っている。日本の最も古い歴史を有し神話と伝説の象徴である出雲大社や、世界No1の評価を得ているしまなみサイクリングロードについては、日本を代表するキラーコンテンツであり、このような資源を有機的に融合させた体験型のインバウンド需要は今後も確実に伸びていくものと考えられている。</p> <p>また両県では、広島県・島根県観光連携協議会を設置し、中国やまなみ街道周遊パスポートの発行等、官民連携により様々な観光キャンペーンを展開し、積極的に観光客誘致に取り組んでいる。（以下、備考に続く）</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,030	A	2,030	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28	H32	H34
1	<p>【広島県・島根県 共通目標】尾道松江線沿線地域における総観光客数を4,982万人（H28）から5,352万人（H34）に増加（370万人（7.4%）の増加）</p> <p>【広島県・島根県 共通目標】尾道松江線沿線地域における総観光客数 （観光入込客数の増加割合）=（評価時点の観光入込客数 - H28の年間観光入込客数） / （H28年間観光入込客数）</p>	4982万人	5165万人	5352万人
2	<p>【島根県 独自目標】尾道松江線沿線地域における外国人観光宿泊客数を5万人（H28）から12万人（H34）に増加（7万人（140%）の増加）</p> <p>【島根県 独自目標】尾道松江線沿線地域における外国人観光宿泊客数 （外国観光宿泊客の増加割合）=（評価時点の外国人観光宿泊客数 - H28の年間外国人観光宿泊客数） / （H28年間外国人観光宿泊客数）</p>	5万人	9万人	12万人
3	<p>【島根県 独自目標】出雲大社における総観光客数を605.8万人（H28）から629.0万人（H34）に増加（23.2万人（3.8%）の増加）</p> <p>【島根県 独自目標】重点対象の拠点施設における当該一の総観光客数 （観光入込客数の増加割合）=（評価時点の観光入込客数 - H28の年間観光入込客数） / （H28年間観光入込客数）</p>	606万人	623万人	629万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
<p>圏域内の豊かな観光資源と無料の高速道路の強みを最大限活用し、広域的特定活動と一体となった観光周遊ルートを形成し、高速IC等の交通拠点から拠点施設を連絡する道路整備等を通じて、移動時間の短縮と観光客の疲労・ストレスを軽減することで、満足度の向上に努め、圏域内外からの観光客や外国人観光客を大幅に増加させ、観光による広域的な地域活性化を図る。</p>												

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	島根県	直接	島根県	都道府 県道	改築	(主)出雲三刀屋線 上 島工区	現道拡幅 L=4.70km	出雲市						1,346	-	
	A11-002	道路	一般	島根県	直接	島根県	都道府 県道	改築	(主)出雲三刀屋線 伊 萱1工区	現道拡幅 L=0.98km	雲南市							684	-
												小計						2,030	
											合計							2,030	

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
島根県土木部道路建設課において評価を実施	令和4年1月
	公表の方法
	島根県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	(主)出雲三刀屋線(伊萱工区)の整備により、尾道松江線ICと拠点施設間における安全性・走行性が向上したことに伴い、観光客の疲労・ストレスが軽減され、満足度の向上が図られたことで、広域的地域活性化に寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
「広域的特定活動と一体となった観光周遊ルート(高速IC等の交通拠点から観光拠点施設間や各拠点施設間を連絡する道路整備等)」の形成は、走行性・安全性を向上させ、観光客の満足度の向上に資することから、引き続き、重点的・計画的に整備を推進することで、圏域内外からの観光客や外国人観光客の大幅な増加による広域的な地域活性化にともなう事業効果の早期発現を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	尾道松江線沿線地域における総観光客数	
	中間 目標値	5165万人
	中間 実績値	3421万人
2	尾道松江線沿線地域における外国人観光宿泊客数	
	中間 目標値	9万人
	中間 実績値	1万人
3	出雲大社における総観光客数	
	中間 目標値	623万人
	中間 実績値	496万人